平成２４年５月７日

少数台数のリコール届出の公表について　（平成２４年４月分）

リコール対象が少数である１００台未満の届出について、平成２４年４月は１４件の届出がありましたので、公表します。

１．届出者：プジョー・シトロエン・ジャポン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸　入　期　間
４月　２日	外1825	車　名：プジョー 型　式：ABA-A75F01　他 通称名：２０７　他	１４	平成２２年１１月　８日～ 平成２３年　９月２５日
不具合の部位等	エンジンルーム内のエンジンヒューズボックスにおいて、車両製造工程で電源供給配線の固定端子を過大なトルクで締め付けたものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、固定端子が破損して接触不良を起こして、エンストし、再始動ができなくなるおそれがある。			

２．届出者：プジョー・シトロエン・ジャポン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸　入　期　間
４月　２日	外1826	車　名：シトロエン 型　式：ABA-A5C5F04 通称名：ＤＳ３	５８	平成２３年　８月３０日～ 平成２３年　９月　１日
不具合の部位等	クラッチペダルとクラッチマスターシリンダープッシュロッドの接続部において、車両製造工程で確実に固定されていないものがあり、クラッチペダルを操作した際に接続が外れてしまい、変速が出来なくなるおそれがある。			

３．届出者：富士重工業株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製　作　期　間
４月　３日	2915	車　名：スバル 型　式：DBA-NSP120X　他 通称名：トレジア	２７	平成２３年１１月　３日～ 平成２４年　１月１９日
不具合の部位等	ＨＩＤヘッドランプ装備車において、後付け用品のハロゲンヘッドランプ用フォグランプキットを誤って適用設定したため、当該フォグランプキットを装着した場合、走行用前照灯（ハイビーム）が点灯しているときに、すれ違い用前照灯（ロービーム）が消灯する。			

４．届出者：新潟トランシス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製　作　期　間
４月　４日	2922	車　名：ニイガタ 型　式：KDP-NR3A 通称名：ﾆｲｶﾞﾀNR82ﾛｰﾀﾘ除雪車	８	平成２３年　８月３０日～ 平成２３年１１月２６日
不具合の部位等	助手席において、座席の奥行の寸法が不足しているため、保安基準に適合していない。			

5．届出者：ボルボ・カーズ・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸　入　期　間
４月　５日	外1829	車　名：ボルボ 型　式：DBA-FB4164T　他 通称名：ボルボＳ６０　他	４	平成２４年　２月２７日
不具合の部位等	車両下部の遮音コーティング剤において、コーティング剤の混合比及び塗付量が不適切なため、コーティング剤が一部箇所において氷柱状になっているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、車両振動等により燃料配管と接触し、燃料配管を損傷することにより燃料漏れを起こし、最悪の場合、火災に至るおそれがある。			

6．届出者：ポルシェジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸　入　期　間
４月　６日	外1823	車　名：ポルシェ 型　式：ABA-991MA104　他 通称名：９１１カレラ　他	７０	平成２３年１２月３１日～ 平成２４年　３月１５日
不具合の部位等	燃料供給配管において、組み付け方法が不適切であったため、接続コネクタ部とヒータパイプの隙間が小さいものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、運転時の車体振動等により接続コネクタとヒータパイプが干渉し、コネクタ部のロックが解除されて燃料漏れが発生し、エンストしたり、最悪の場合、漏れた燃料に引火し、火災に至るおそれがある。			

7．届出者：ゼネラルモーターズ・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸　入　期　間
４月１２日	外1830	車　名：ハマー 型　式：不明 通称名：Ｈ２	５１	平成１８年１１月１４日～ 平成１９年　１月２２日
不具合の部位等	触媒コンバーターの製造時の異物混入及び触媒コンバーター内部の固定不良のため使用過程において触媒コンバーター内部が破損し、内部から異音が発生するおそれがある。その状態で使用した場合、排気ガス浄化性能が低下し、メーター警告灯が点灯する。			

8．届出者：コベルコ建機株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製　作　期　間
４月１３日	2923	車　名：コベルコ 型　式：EDR-YE04 通称名：ＳＫ１２５Ｗ	７	平成２３年１０月　４日～ 平成２４年　１月１８日
不具合の部位等	ショベルローダの油圧ホースにおいて、ホースを接続する接続金具の材質が不適切なため、強度が不足しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該金具に亀裂が生じて作動油が漏れ、最悪の場合、油圧ポンプが空気を吸い込んで破損し、走行不能になるおそれがある。			

９．届出者：川崎重工業株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製　作　期　間
４月１９日	2927	車　名：カワサキ 型　式：JBK-EX250K　他 通称名：ニンジャ２５０Ｒ　他	１７	平成２３年１０月２６日～ 平成２３年１２月２７日
不具合の部位等	リヤステップ（後部座席用足かけ装置）において、取付けピンの抜け止め用サークリップの強度が不足しているため、組み付け時にひび割れを生じるものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、走行中の振動などによりサークリップが破損し、最悪の場合、取付けピンが抜け出してリヤステップが脱落するおそれがある。			

１０．届出者：ロールス-ロイス モーターカーズ リミテッド

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製　作　期　間
４月２３日	外1838	車　名：ロールスロイス 型　式：ABA-664S 通称名：ゴースト	3	平成２３年　４月　７日～ 平成２３年　６月　２日
不具合の部位等	ターボチャージャーを冷却するための電動補助クーラントポンプにおいて、ハウジングの製造工程が不適切であったため、ハウジングに亀裂が生じることがある。その場合、亀裂からクーラントや湿気が浸入することにより回路がショートし、プラグ接続部が焦げ付き、最悪の場合、車両の火災に至るおそれがある。			

※　平成２４年４月２３日　リコール届出番号：外 1837 と併せて公表済み

１１．届出者：ニコル・レーシング・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸　入　期　間
４月２３日	外1839	車　名：ＢＭＷアルピナ 型　式：ABA-AM10 通称名：Ｂ５ビ・ターボ	4	平成２３年　７月１２日～ 平成２３年　８月１７日
不具合の部位等	ターボチャージャーを冷却するための電動補助クーラントポンプにおいて、ハウジングの製造工程が不適切であったため、ハウジングに亀裂が生じることがある。その場合、亀裂からクーラントや湿気が浸入することにより回路がショートし、プラグ接続部が焦げ付き、最悪の場合、車両の火災に至るおそれがある。			

※　平成２４年４月２３日　リコール届出番号：外 1837 と併せて公表済み

１２．届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製　作　期　間
４月２４日	2929	車　名：三菱 型　式：LKG-FU54VZ　他 通称名：ふそう	７８	平成２２年　６月　３日～ 平成２４年　３月２０日
不具合の部位等	大型トラックにおいて、排気管（フロントパイプ）の溶接が不適切なものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、溶接部が亀裂して破断に至るおそれがある。			

１３．届出者：プジョー・シトロエン・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸　入　期　間
４月２５日	外1836	車　名：シトロエン 型　式：ABA-B75F01S　他 通称名：Ｃ４　他	２	平成２３年１０月３１日
不具合の部位等	エンジンルーム内のエンジンヒューズボックスにおいて、車両製造工程で電源供給配線の固定端子を過大なトルクで締め付けたものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、固定端子が破損して接触不良を起こして、エンストし、再始動が出来なくなるおそれがある。			

１４．届出者：クライスラー日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸　入　期　間
４月２７日	外1840	車　名：クライスラー 型　式：ABA-RT38 通称名：グランドボイジャー	２６	平成２２年　５月１９日～ 平成２２年　６月２２日
不具合の部位等	イグニッション・キー・シリンダにおいて、“ＯＮ”位置の節度が弱いものがある。そのため、走行中にイグニッション・キーに触れるとキーポジションが“ＯＮ”から“ＡＣＣ”へ動き、エンジンが停止してしまうおそれがある。			

【参考】

●平成２４年４月のリコール届出総件数

		内　　訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	１４件（　＋８）	９件（　＋４）	５件（　＋４）
輸入車	１５件（　＋９）	６件（　＋４）	９件（　＋５）
計	２９件（＋１７）	１５件（　＋８）	１４件（　＋９）

※　（　）内は、対前年同月比

●リコール届出件数及び対象台数（平成２４年度）　＜速報値＞

月	届出件数			対象台数		
	国産車	輸入車	合計	国産車	輸入車	合計
4	14(+ 8)	15(+ 9)	29(+17)	82,216(　+80,881)	54,880(+51,123)	137,096(　+132,004)
小計	14(+ 8)	15(+ 9)	29(+17)	82,216(　+80,881)	54,880(+51,123)	137,096(　+132,004)

※　（　）内は、対前年比